

自然起源放射性物質（NORM）に関し今後の放射線審議会で議論すべき事項、スケジュール（案）について

	令和4年度			令和5年度
NORMに関する基盤研究	文献調査などの基盤調査			必要に応じて基盤調査の継続
放射線審議会におけるNORMに係る審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ○国際機関（ICRP・IAEA）からの勧告・要求等について事務局から報告 ○令和3年度安全研究の成果及び国内での知見について報告 	<ul style="list-style-type: none"> ○各国の法規制について報告（輸出入時における論点があれば報告） 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度の調査結果について報告 ○上記を踏まえた追加的調査の必要性等についての議論 	研究結果や国内・国際の現況を踏まえ、対応方針を検討・審議
審議会（回数）	第156回 審議会(R4.夏)	第157回 審議会(R4.秋)	第158回 審議会(R5.春)	3回程度の開催を想定

○令和3年度の放射線安全規制研究戦略的推進事業費で実施した事業の結果から、NORMからの被ばくを検討するにあたり産業利用される物質のうち調査がさらに必要なNORMがまだ存在することが判明。

○令和4年度の調査事業の中では、上述の情報が必要な物質に関する基礎情報を収集することを目的とした事業を発注予定。

○令和5年度以降の調査事業については、令和4年度の事業や審議状況を考慮し決定する。